

資料提供	
平成25年2月27日	
担当課 (担当者)	県立博物館 美術振興課 (竹氏倫子)
電話	0857-26-8045

## 県立博物館 美術常設企画展示

### 「写真表現の先駆者たち—塩谷定好・植田正治・岩宮武二・杵島隆」の開催について

県立博物館では3月5日より、当館所蔵品による標記展覧会「写真表現の先駆者たち—塩谷定好・植田正治・岩宮武二・杵島隆」を開催します。つきましては、この展示について広くご案内くださいますとともに、取材いただきますようお願いいたします。

#### 1 開催趣旨

当館初の所蔵写真展として開催する本展では、鳥取県を代表する4人の写真家、塩谷定好（しおたに・ていこう）、植田正治（うえだ・しょうじ）、岩宮武二（いわみや・たけじ）、杵島隆（きじま・たかし）を取り上げます。彼らは、それぞれの時代とジャンルにおいて先駆的な活躍をし、日本写真史に重要な足跡を残しました。本展では、代表作を中心に彼らの業績を紹介します。

#### 2 出品作家について

- ・塩谷定好（1898～1988）…琴浦町出身。大正から昭和初期にかけて全国規模で活躍し、鳥取県写真界の先鞭を付ける。
- ・植田正治（1913～2000）…境港市出身。非日常的な世界観によって国際的に知られる。特にフランスで評価が高く、勲章を受章している。
- ・岩宮武二（1920～1989）…米子市出身。戦後の関西写真界を代表する写真家。日本の伝統建築などをテーマとした写真集が各国で出版される。
- ・杵島隆（1920～2011）…米子市出身。日本の広告写真の草分け的存在となる。



塩谷定好《天気予報のある風景》1931年



植田正治《パパとママと子どもたち》1949年



岩宮武二《説法の釈迦像》1973-74年



杵島隆《老婆像》1950年

- 3 出品予定点数 約90点
- 4 会 期 平成25年3月5日（火）～4月21日（日）休館日なし
- 5 会 場 鳥取県立博物館2階 近代美術展示室
- 6 主 催 鳥取県立博物館
- 7 関連事業 ギャラリートーク（観覧料が必要です）  
3月16日（土） 14:00～14:30頃、近代美術展示室
- 8 観 覧 料 常設展示の観覧料 一般180（150）円  
※（ ）は20名様以上の団体。学生以下、70歳以上の方は無料
- 9 問い合わせ先 鳥取県立博物館 美術振興課 担当：竹氏倫子  
鳥取市東町2丁目124（電話：0857-26-8045）